



若き日の母（17歳明治27年）  
博士はこの写真をとても大切にしていた。

「わたしの母は、一葉に似ているだろう。」と言って、ほこらしく母の写真を  
見せるのでした。ほんとうに、その写真は若いころの、明治の女流作家、樋口  
一葉にとてもよく似ていたそうです。母の写真は、富三にとって大事なお守り  
であり、富三の研究室の机には母の写真が飾ってありました。そして、この研  
究室を訪れる人たちに「写真の母は、いつも私に『がんばれよ』とはげまし  
の

声をかけ、勇気を与えてくれている。」と語っています。富三の母は  
明治生まれで八十三歳まで生きま  
した。この母が生まれたころは山  
村では学校に行く人も少なく、女  
子は特に少なかったようです。母  
も四年の小学校を卒業しただけで  
した。しかし、母は確かな生き方  
をもっていました。どんな人に対  
しても思いやりをもってやさしく  
しました。小さい子どもが用をた